

# 令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

## ワークショップ実施計画書

制作団体名	かわせみ座
公演団体名	かわせみ座

内容
<p>～人形やオブジェを使って、子供たちと共に舞台を遊ぶ～ 『狐森のキツネ達と子いたち』</p> <p>&lt;詳細&gt; 参加人数:10～40名程度（人数の上下限はご相談に応じます） ワークショップ所要時間:1時間45分～2時間 ワークショップ開催場所:教室(狐面作り)・体育館の舞台上とフロアー(演技指導)</p> <p>&lt;スケジュール&gt; 前半…仮面のオブジェ(狐のお面)を、各自1つ作ります。 後半…自分が作った仮面を使いながら、からだ全体で音楽や台詞、人形の動きに合わせて表現することを学んでいただきます。この表現方法を活かした作品にそって、人形と共に物語を演じます。</p> <p>&lt;ワークショップ内容&gt; かわせみ座の出演者と共に、ワークショップで1本の小作品(約15分)を創り上げます。 身体と物(人形・オブジェ)を使い想像力を膨らませて、表現することの面白さや難しさを体験してもらいます。作品内で使用のお面を、ワークショップの最初に指導しながら一緒に作成します。その他の人形はこちらで用意します。 また、本公演当日にも1時間程度、本番通りの照明、音響の中で、リハーサル(ゲネプロ)を行います。</p>

タイムスケジュール(標準)
ワークショップの開始40分前に体育館入り【準備・下見・打ち合わせ】 約40分:各自1つの狐面を作成 トイレ、給水休憩 約1時間10分:実際に舞台上がり、演技指導

派遣者数
4名

学校における事前指導
場面の進行を理解しておいていただけるように、ワークショップ当日までに参加する生徒さんに台本を読むようご指導ください。台本は事前に人数分+先生用1部をお送りいたします。 台詞の振り分けやグループ分けは、当日のワークショップ内で行いますので、事前のグループ分けは不要です。

# 令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

## 本公演実施計画書

制作団体名	かわせみ座
公演団体名	かわせみ座

<b>演目</b>
まほろばのこだま 作・原案／山本由也・益村泉 人形美術・舞台美術／山本由也 構成・演出／高畑勲(アニメーション映画監督)

<b>派遣者数</b>
10名

<b>タイムスケジュール(標準)</b>
「公演開始時間 13時30分の場合」 当日 8:00 搬入開始～仕込み(所要時間:約5時間) 10:30頃～11:30頃まで児童との共演作品のリハーサル(所要時間:約1時間) 13:30 開演 15:00 終演後ばらし～ 18:00 までには終了、退出

<b>実施校への協力依頼人員</b>
体育館が2階以上の場合、搬入・搬出時に5名程度のお手伝い要員をお願いいたします。 体育館が1階の場合は、搬入・設営時に、ご担当者によるご対応をお願いいたします。  【本公演当日のお願い】 ・舞台上および袖中に、運動器具や演台など、物が無いようにお願いします。 ・ピアノがある場合は、移動場所と移動方法をご相談させてください。 ・舞台面をあらかじめ清掃しておいていただくと、大変助かります。 ・演出上、照明が綺麗に映えるよう、可能な限り(映写室のように)会場を暗くしたいと考えております。ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

## 演目解説

この作品は、日本の伝説、民話をモチーフに、夢・現・幻をつづったオムニバス形式の小品集です。わらべ唄と音楽とヴォイス・パフォーマンス、表現者自身と人形で表現した舞台空間芸術です。かわせみ座はこれまでに世界に日本を紹介するため、河童や烏天狗といった“もののけ”が登場する作品として「まほろば」を上演していました。そしてかねてよりスタジオ・ジブリの高畑勲氏の構成・演出を熱望し依頼したところ、かわせみ座の世界に共感された氏をご快諾くださり、2000年10月に「まほろばのこだま」として生まれ変わりました。同上演は、2001年演劇雑誌『テアトロ』3月号にて、特集「2000年舞台ベストワン・ワーストワン」で“ベストワン”に選ばれました。

『人形芸術への深い傾倒、自分らの仕事を信じている、その強度を感じさせる舞台である。』（演劇評論家、岩波剛氏の劇評より一部抜粋）

- ・2000年 東京 2000年祭「千年文化芸術祭」入選作品賞受賞
- ・2000年 中央児童福祉審議会特別推薦作品受賞
- ・2005年 エジンバラ国際演劇祭フリンジ参加(英国)
- ・2005年 ラベンナ国際演劇祭招待公演(イタリア)
- ・2007年 香港アートフェスティバル招待公演(中国)

## 児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

- ・「作ること」「演じること」「参加する劇団員と生徒全員が協力し、共演すること」を体験していただきます。
- ・部分的に参加するのではなく、作品全編に渡り生徒さんと劇団員が協力しあい、15分程度の一つの作品を完成させます。ワークショップと公演当日のリハーサルの2回の出会いで、より繊細で完成度の高い表現を発表できるように一緒に創り上げていきます。
- ・本公演のエンディングで上演参加。(出番まで、舞台前の客席で待機しながら、鑑賞していただきます)

## 児童生徒とのふれあい

- ・上演後15分程度、かわせみ座独自の手法で製作された糸操りの人形の素材や製作過程、操作方法などを説明し、生徒さんの質問にお答えする交流会を行います。
- ・学校側の了承を得ることができたら、荷物の搬入・出時に生徒達に運搬を手伝っていただき、交流を深めたいです。
- ・終演後、人形や役者と一緒に写真撮影のご希望に沿い、身近に交流する機会といたします。



